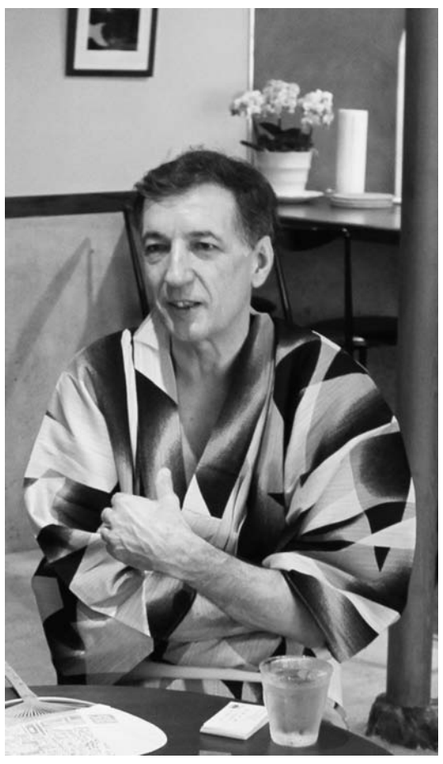
「ミシュラン・グリーンライナー号」運行開始記念対談

ミシュラン・グリーンガイド

二つ星・城崎温泉 その魅力を語る

仏タイヤメーカー、ミシュラン社の旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」（改訂第3版）で兵庫県豊岡市の城崎温泉が二つ星として評価された。これを記念して、城崎―大阪間を結ぶ特急バス「ミシュラン・グリーンライナー号」の運行が7月11日から始まった。中貝宗治豊岡市長とベルナール・デルマス日本ミシュランタイヤ社長の対談を通して、城崎温泉の魅力を探った。司会は城崎温泉旅館協同組合の高宮浩之理事長（山本屋社長）。

＝7月10日、城崎温泉のビアレストラン「グビガブ」で



ベルナール・デルマス氏　日本ミシュランタイヤ社長

中貝　宗治氏　豊岡市長

ミシュラン・グリーンライナー号

高宮　浩之氏　城崎温泉旅館協同組合理事長

素晴らしい景色に感動 訪れるに値する魅力 バス運行は初めての試み

高宮　ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンは、城崎を「近くにいれば寄り道をして訪れるべき場所」を意味する二つ星として評価しました。市長はどう受け止めていますか。

中貝　先人から受け継いだ大切なものを守り、育て、引き継ぐのが市長としての役割だと思っています。受け継いだものの中には自然、歴史、そして豊岡ならではの独特な伝統文化があります。特に城崎については、頑固なまでに木造3階建ての旅館の町並みを大切にしており、そうした努力が評価されたのではないでしょうか。

ベルナール　木造の旅館と川端の柳という城崎特有の佇まい、そして緑豊かな景色など、訪れるに値する魅力が二つ星になったと思います。ミシュランガイドは世界中で売れており、日本に観光客を来させるための適切なツールだと自負しています。二つ星評価を機に、城崎への観光客が増えればとてもうれしい。初めての訪問で城崎の素晴らしさを私自身の目で確認できたのは何よりです。自信を持って勧めることができます。

高宮　7月11日からは城崎温泉駅と大阪阪急三番街を結ぶ特急バス「ミシュラン・グリーンライナー号」の運行がスタートします。

ベルナール　市と全但バスさんの協力で実現しました。こうした試みは初めてで、デザインもとても素晴らしい。また、当社のタイヤを使っていただいてとても光栄です。将来、神戸や京都、東京などと結ぶ路線ができればいいですね。当社は環境重視の姿勢でタイヤを作っており、1994年という早い時期から今ではよく耳にするエコタイヤ、省燃費を実現するタイヤ「ミシュラン・エナジー」シリーズを開発しました。全但バスさんも環境にやさしいタイヤを使っていると聞いています。今後何らかのサポートができればいいですね。

中貝　ミシュランガイドに載せてもらえれば観光客が増えるだろう、という邪な考えがきっかけでした（笑い）。しかし、ミシュラン社が環境問題に真剣に取り組んでいる話を聞くと、コウノトリをシンボルとするまちづくりに取り組む市の理念と共通するのではないかという思いを強くしました。

ベルナール　車を使っての移動、たとえば旅行をする際、ここは訪れてみる価値があるという施設や場所が事前に分かっていれば時間を有効に使うことができます。ミシュランガイドはそんな思いで発行しています。

中貝　「市の公用車のタイヤをミシュランにする」とフェイスブックに載せたのですが、たちまち300人近くが「いいね！」と反応しました。ミシュランタイヤを長く愛用している人も多く、「持ちが違う」という指摘から、「私もミシュランに代える」という転向派の人もいました（笑い）。根強いファンが多いことが改めて分かり、タイヤ使用の決定は間違いでなかったようです。

ベルナール　日本との縁は深く、特に冬用タイヤについては日本の厳しい冬を想定し、日本の研究所を中心にして研究しています。

中貝　仏企業のタイヤが日本で開発され、それが世界で走っているのは面白い。うれしいですね。

高宮　城崎は「日本一ゆかたの似合うまち」を自負しています。ベルナールさんにもゆかたを着ていただいているのですが、いかがですか。

ベルナール　とても気持ちがいいですね。風を感じることができ、風流な気持ちになれる。ただ、背が高いので、ちょっと足元が気になりますが（笑い）。

中貝　「ゆかたの似合うまち」は20年ほど前から言っています。旅館で夕食を食べた後、ゆかた姿で下駄を履いて町をそぞろ歩きしてもらい、情緒あふれる温泉街の魅力を味わっていただく。多くの町で同じような取り組みがなされていますが、最初に始めたのはここ城崎です。

高宮　ミシュランガイドでは、大師山（城崎温泉ロープウェイ山頂）からの眺望が「興味深い場所」を意味する一つ星に認定されました。

ベルナール　私も乗りましたが、ロープウェイから見る景色はとても素晴らしい。木々が元気というのか、本当にきれいな森で、ここを歩いてみたいという気にさせられました。感動しました。

中貝　われわれにとってはごく普通の景色で、ベルナールさんが驚くのがとても不思議です。

ベルナール　住民にとっては当たり前でも、外から見ると魅力あるものに映るというのはよくある話ですが、まさしくその典型ですね（笑い）。この景色をPRしない手はないと思います。さらに城崎の魅力の一つに外湯（7カ所）があります。内容もバラエティー豊かで、好みに合わせて選べるのがいい。

町並み守る努力が評価 公用車、ミシュラン製に 日本一ゆかたの似合うまち

中貝　城崎は共存共栄の精神が生きています。旅館だけが潤えばいいというのではなく、町全体が潤うことが大事だと。町を旅館にたとえると、駅は玄関、通りは廊下であり、そして周りにある旅館は一つの客室です。1軒の旅館で宿泊客を囲い込むことはせず、外に出すことで町全体を活性化させることが必要です。町ににぎわいがなければ観光客は来てくれません。

ベルナール　城崎はアクセスがいいとはいえません。東京から行こうと思えばそれなりの努力がいります（笑い）。逆にいえばそれがいい。遠くからわざわざ足を運ぶ、まさしく訪れる価値がここにはあります。願わくば、そうした期待をこれからも裏切らないでほしいですね。

高宮　城崎は海も近く、海水浴など海のレジャーも楽しめます。外国人、特に欧州の方は海が好きだと聞いていますが。

ベルナール　とても好きですね。夏はもちろん、少々寒くても泳ぎますよ（笑い）。あまり海の宣伝をしていないようなので、もっとすればいいのにと思います。山関連の観光情報も必要です。

中貝　そういわれれば海と温泉をセットしたPRはこれまでやってきませんでした。新しい魅力になりそうです。

ベルナール　サイクリングもいいですね。欧米人は自然との触れ合いを大事にしており、外国人の関心を集めるにはぜひとも自然に関する情報を発信していただきたい。

中貝　竹野町の淀の洞門はカヌーでしか入れませんが、海の色がとにかくきれいで、お勧めのスポットです。

ベルナール　写真で見ましたが最高ですね。

高宮　城崎といえばカニ。冬の味覚の代表です。そのほか但馬牛など食材も豊富です。ぜひ食べてみてください。

ベルナール　その土地ならではのものをいただくのは旅の醍醐味です。今度は奥さんを連れてカニを食べに来ます。とても楽しみです。

高宮　出石永楽館はご存知ですか？

ベルナール　（写真を見ながら）芝居小屋ですね。

中貝　明治34年に開館し、歌舞伎や寄席、活動写真など但馬の大衆文化の中心として栄えました。昭和39年に閉館しましたが、平成20年の大改修を経て蘇りました。11月4日から第5回「大歌舞伎公演」が始まりますが、6日はカニの解禁です。6日以降おいでいただければ歌舞伎を見て、温泉に入り、旬のカニを食べることができます（笑い）。ぜひお越し下さい。

ベルナール　景観を含めた自然、そして温泉や伝統文化を守るのは大変な努力が必要です。城崎はそうした地道な努力を積み重ねており、今回、それが二つ星となって評価されました。変わることなく、いいものを後世に残していってほしいと思います。

城崎の魅力をめぐり話が弾む、ゆかた姿の3氏

本社キャンペーンテーマ　観光立国実現は、地方（地域）から推進を

地域の未来を皆で見つめ直し
観光力を創造、発揮する時代

観光経済新聞がお手伝いします
永年、全国で観光地活性化座談会を展開した実績は、比類ないものです。
座談会やシンポジウムの実施を通して地域にふさわしい方向を見出してください。

観光関連事業者だけの観光産業ではない
地域内の一般産業も観光と無縁ではない
住民ホスピタリティなければ観光地ではない

域内4者座談会
シンポジウム
開催のご提案

お問い合わせ　観光経済新聞社・産業観光活性化支援室
TEL03-3827-9800　E-mail:info@kankokeizai.com

地域活性化シリーズ座談会資料（PDF版）はメールでご請求ください。
ご要望に応じて企画説明へ担当者派遣にも応じます。